

# コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2021年10月28日

新型コロナに感染した治療中がん患者の重症化と死亡リスク:2020年6月以前と以後の比較:米国ASCO(米国臨床腫瘍学会)レジストリデータ

## 【松崎雑感】

積極的がん治療中の患者さんが新型コロナに感染した場合の死亡率を、コロナパンデミックの初期とそれ以降(2020年6月以前と以後)で比較した論文です。感染から3か月後の死亡率は、パンデミック初期で28%、それ以降で21%と低下傾向がありました。喫煙するがん患者さんの感染後死亡率は21%で、非喫煙者の2倍でした。治療法の進歩をオフセット(台無しに)するのが喫煙です。今からでも、遅くありません。すぐに禁煙しましょう(加熱式タバコも電子タバコも)。

# 新型コロナに感染した治療中がん患者の重症化と死亡リスク:2020年6月以前と以後の比較:米国ASCO(米国臨床腫瘍学会)レジストリデータ

Mileham KF (Atrium Health–Levine Cancer Institute, Charlotte, NC.), et al. **Changes Over Time in COVID–19 Severity and Mortality in Patients Undergoing Cancer Treatment in the United States: Initial Report From the ASCO Registry.** **JCO Oncol Pract.** 2021 Oct 25:OP2100394. doi: 10.1200/OP.21.00394. Epub ahead of print. PMID: 34694907.

## 目的

がん患者は新型コロナ感染リスクが高い。ASCO新型コロナレジストリは全米のがん治療管理団体から系統的なデータ収集を行っている。

## 方法

積極的がん治療中の患者が新型コロナに感染した場合、がん治療管理団体は、その旨をデータベースに入力する。血液がんと原発性及び転移性固形がん患者を対象とした。感染から30日後と90日後の死亡率を2020年6月以前と以後に分けて比較した。

## 結果

2020年4月から10月までに、38のがん治療管理団体から453名の新型コロナ感染者が報告された。62%は固形がん患者。平均64才。現在あるいは過去喫煙者は43%。

B細胞悪性腫瘍(悪性リンパ腫・多発性骨髄腫)患者:60才以下の人々と比べて、61~70才の人々は2.1倍、71才以上の人々は4.5倍死亡率が高かった(いずれも有意差あり)。

転移性固形がんでは年齢による死亡率の差は見られなかった。

タバコ製品使用者の30日後死亡率は21%で、非使用者の11%より有意に高かった。

2020年6月以前に新型コロナに感染した人々はそれ以後に感染した人々より死亡率が高い傾向があった(20%対13%)。

感染から90日後の死亡率は、2020年6月以前で28%、以後で21%と低下する傾向があったが有意ではなかった。

## 結論

悪性リンパ腫・多発性骨髄腫では、高齢ほど死亡率が高かった。

また既喫煙者は非喫煙者より死亡率が高かった。

2020年後半には、30日、90日後死亡率が低下する傾向が見られた。

これは、無症状感染が増えたことと、急性期治療の改良によっているのかもしれない。